



がっこうだより

枚方市長尾西町 2 丁目 45 番 1 号 TEL050-7102-9176
E-mail nishinagao-e00@city.hirakata.ed.jp
URL https://www.city.hirakata.osaka.jp/soshiki/6-1-0-0-0_2.html

枚方市立西長尾小学校 令和 6 年 4 月 2 5 日号

<西長尾小学校のめざす児童像>

1. 心豊かな子ども (自他を大切に
する、思いやりのある子ども)
2. 深く考える子ども (自ら学び、
創造的な思考を持ち、柔軟に行動
できる子ども)
3. 健康な子ども

コミュニケーションが創造性を引き出すきっかけです

—— 学校で学ぶ良さについて

学校で多数の人と接し、学ぶことは、子どもたちが、他者の立場になって考える機会となるだけではありません。関わりの中で生まれる気づきが、新しい発想を生み出したり、自分の成長に気づくことで自信を強めたり、本来的に成長したいという欲求を持っている子どもたちにとって、自己肯定感を高めやすい環境になっているのです。



そのような学びの環境を創るうえで、重要な視座が、「心理的安全性」です。自分が受け入れられているという安心感や、意見が自由に言える寛容性、最後まで耳を傾けようという包容力や、共通の課題に対して協働して解決に取り組もうとする思いやりなどが、心理的安全性のある環境づくりには欠かせません。



心理的安全性を支えるこれらはすべて「非認知能力」とよばれる、「知識や理解度を測るテスト等で測れない力」です。これらは関わる一人一人の行動に現れてくるもので、日常の関わりの中で、まずは教職員が見取り、価値づけ、認め、励まします。子どもたちも、共感する中でその良さを共通の大切な価値として行動に表わし、自身を磨いていくものです。

昨年度に引き続き、今年度も、すべての教育活動の中で、「非認知能力」を

育むことを意識した取組を行います。また、それらの価値の良さを子どもたちが実感するために、演劇的手法を生かしたコミュニケーション力を育む指導も定期的に行っていきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和6年度 創作劇活動(演劇的手法を活かしたコミュニケーション授業)計画

学年 学期	1	2	3
1	なりきりいきもの ぬてっこゲーム	何をやっているのでしょう ぬてっこゲーム	ここはどこでしょう ぬてっこゲーム
2	チームで創作 何をやっているのでしょう あてっこゲーム	何をやっているところ シーンあてっこゲーム	チームで創作 何をやっているところ シーンあてっこゲーム
3	400字戯曲創作(教師が朗読)	400字戯曲創作(ペアで朗読)	身体表現ワークショップ
4	演劇ワークショップ	400字戯曲創作(ペアで演技)	400字戯曲創作(前ばなしあり)
5	身体表現ワークショップ 「粘土と芸術家」	演劇ワークショップ	グループ創作「わすれもの」
6	グループ創作「転校生が来た」	演劇ワークショップ(小小連携)	演劇ワークショップ

☆今年度末の卒業式での児童の服装等について

卒業式の教育的意義について下のとおりお知らせいたしますので、ご協力をお願いいたします。

卒業式は、6年間の学校生活での最後の姿を見せる場です。

児童にとっては、在校生に立派に成長した姿を示し、後を託す場となるものです。日頃の振る舞いや努力を振り返り、保護者に感謝し、関わった人々に感謝し、一人ひとりがこれから新たな一歩を踏み出す決意を確認し合う日です。

当日は、児童一人ひとりがその振る舞いや表情で、そのような気持ちを伝えます。厳粛で清新な雰囲気をお願いいたします。

したがって、卒業式での、児童の華やかな服装(衣装)や化粧・装飾などは、控えていただきますようお願いいたします。

何よりも、卒業する児童一人ひとりが、着飾ることによって特別な感覚を抱くのではなく、当日までの取り組みや日常の積み重ねの過程で、成長をきちんと振り返り、その到達点として、その児童自身が、内面からそれぞれの輝きを伝えられるように指導していきます。

以上の趣旨をご理解いただきまして、どうか子どもたちのために、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

下の表は、各学年ごとに育むべき非認知能力を具体的に示した行動指標です。

※学年目標や学級目標もこれらに準拠して作成しています。

令和6年度 非認知能力 系統的な目標

枚方市立西長尾小学校

学年	心豊かでたくましい子ども		自ら学ぶ子ども	
1	思いやりがある子	元気にあいさつできる子	困っている友だちを助けようとする子	学んだことを教えられる子
	人の話を聞ける	ありがとう、ごめんなさい、おはようございますが進んで言える	やさしく「大丈夫?」と声かけられる	自分ができることが友だちにできるようにサポートできる
2	友だちが思っていることを分かってもらう	進んで思ったことが言える子	困っている子を助けようとする子	学んだことを深め合える
	進んで友だちに話しかける 聞きに行く	ダメなことをダメと言える	声をかけ、手をさしのべる	より良い方法を見つけられることができる
3	互いに心を開き関わり合える子	失敗を恐れずに挑戦できる子	課題に対し粘り強く取り組める子	見通しをもって学習できる子
	相手の意見を大切にしながら、話し合える	どんなことも、とりあえずやってみようとする	最後まであきらめない	めあてに対する振り返りが書ける
	困っている人に進んで声をかける	失敗をしてもすねない	間違えたらすぐ直せる	提出物を期限内に出す
4	受容共感の気持ちを大切にし関わり合える子	相互理解を大切にコミュニケーションをとれる子	自ら課題を見つけ解決しようとする子	自分の課題に向き合い見通しをもって取り組める子
	友達が悩んでいるときに、声をかけることができる	友達の苦手を理解し優しくかわることができる	授業での振り返りを進んで取り組む姿	グループ発表で進んで発言をしている
	友達の成功を喜べる	他者の意見を最後まで聞く	自主学習に日々取り組んでいる	苦手なことに対して、目標をもって取り組むことができる
5	友だちと協力し合い歩みよることができる	粘り強くどんなことにも取り組める	向上心を持ち、自分を高めようとする	自尊感情を高め自信を持って取り組めるよう貢献する
	相手との違いを認める	最後まで投げ出さず取り組める	よりよい成果を上げるため自ら取り組む	相手の良さを伝えられる
	誰とでも話し合える	苦手なことにも向き合う	学んだことをより深く考えようとする	自分の考えを持つ
6	思いやりを持ち違いを受け止め許容する姿	最後まであきらめず、粘り強くやる姿	自分の成長のために失敗を恐れず前へのめりになる姿	他者を巻き込み相手の身になって考え行動し、集団としての学びを深める姿
	学年クラス関係なく相手や周りのことを考え行動できる。	上手いかわなくても投げ出さない	自分の考えや思いを行動に移せる	周りにアドバイスができる 自分の意見を伝える
	お互いの主張を踏まえた上で前に進む提案ができる。	繰り返しチャレンジできる	自分から立候補できる	ひとつの目標に向けて色々な視点を持ち高め合う

読書ノート運動

小学生に読書に親しんでもらおうと、大阪読書推進会と朝日新聞大阪本社が進める「読書ノート運動」。

本校も活動に参加しています。昨年度後期の結果(10~3月)がまとまりました。

5、6年生は50冊読むと、氏名が新聞と「朝日新聞デジタル」(<https://www.asahi.com/area/osaka/>)に掲載され、100冊読んだ1~4年生は朝日新聞デジタルに氏名が掲載されています。

本校で達成した人も掲載されています(掲載許可を頂いた方のみ)。掲載日は4月27日(土)です。

☆日々の学校の様子は「枚方市立西長尾小学校ブログ」をごらんください。

右のQRコードでアクセスできます。⇒



☆ 4月のようす

4月19日 1年生

朝の日直の仕事のときは自信なさげだったが、終わりの会では、「一人でする」と言い、堂々と日直の仕事をやりました。子どもたちの伸びようとする気持ちと、底力を感しました。一日でこんなに成長するのですね。



4月18日 2年生

国語 自分が好きなことを相手に伝えますめあては「おはなしをくふうしよう」みんなの前で自分のことについて、相手の質問に合わせて答えています。



4月17日 3年生

図画工作 ビニール袋を膨らませ、大きな風船を作り、造形遊びをしました。



4月22日 4・5・6年生

今日のはじめての委員会活動でした。やる気に溢れた姿があちこちで見られました。

